

真空対応4素子シリンドリフト検出器システム

最新のSDD検出器を4素子採用し、高計数率と高エネルギー分解能を実現しました。
APU504XDCは高計数率モードと高分解モードを選択でき、柔軟な計測が可能となっております。

シリンドリフト検出器 XSD50-04GR

全有感面積：188 mm² (Collimated to 47 mm²×4素子)
全素子面積：260 mm² (65 mm²×4素子)



Graphene Window



グラフェン窓の主な特徴

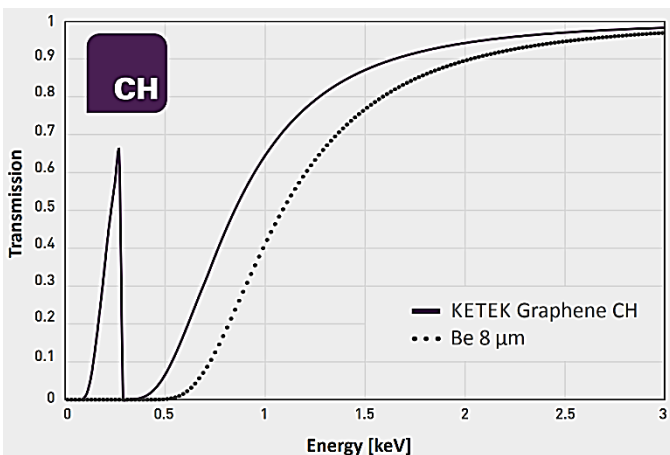
- 可視光による影響がないため暗所、暗幕不要
- ヒートシンク温度80度まで常に高性能を維持
- 安定した真空度で10年以上の動作が可能
- ポリマー窓と同等以上の透過率

カスタマイズ可能

- フランジ (ICF114)
- 筒の長さ (100mmから300mm)

CHタイプ (高エネルギー向け)

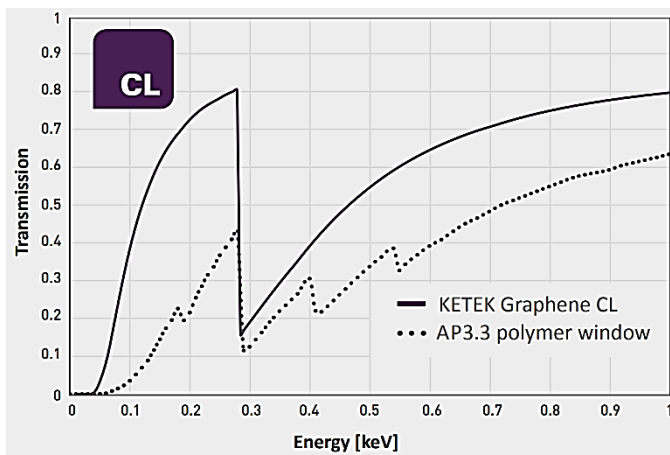
厚み1 μm カーボン
サポートグリッドなし
8 μm ベリリウム窓のリブレイス



ベリリウム窓とグラフェン窓1μmの比較

CLタイプ (低エネルギー向け)

厚み165 nm カーボン
シリコンサポートグリッド (開口率86%)
低エネルギーアプリケーション用



AP3.3窓とグラフェン窓165nmの比較

- どちらの窓も検出器の真空封止が可能で優れた冷却性能を発揮します。
- 全エネルギー領域で従来の窓より透過率が向上しています。

高計数信号処理モジュール APU504XDC



100 Msp/s, 16-bit

サンプルプログラム無償提供

Python

Linux

LabVIEW

Visual C++

Visual C#

評価機レンタル・出張デモの無償サービス

株式会社テクノエーピー

〒312-0012茨城県ひたちなか市馬渡2976-15

TEL:029-350-8011 FAX:029-352-9013

info@techno-ap.com



<http://www.techno-ap.com>

